

都中P通信

No. 22

発行 平成24年6月 東京都公立中学校PTA協議会 会長 水上 幸夫

<<< 一年の振り返りと今後 >>>

都中P会長 水上 幸夫

会員の皆様、日頃より都中Pの活動に対してご理解、ご協力ありがとうございます。

この一年間の歩みの振り返りと次年度の活動予定をいくつかご紹介します。

まず一つ目は、都庁第一庁舎45階南展望室で行いました『都中Pフェア』です。平成23年度で4年目になりますが、今回は、「学校給食」について取り組み、各地区での給食試食会報告・全都の給食現状調べ・給食費未払い問題に対するのメッセージの発信等を行いました。次年度については、事業の見直しで未開催の予定です。

二つ目は、昨年度に引き続き理事会開催を各地区で巡回し、各地区の現状、雰囲気等を知る機会にしました。また、会員の学びの場として「PTAアカデミー」をセット企画実施し、校長会等の協力をいただき、「教員の人事配置について」「中学校における技術・家庭科の現状」「教職員の研修・研究について」等のお話しをしていただきました。12月には、都教委委託事業中学校PTAリーダー研修会として「地域のつながり」～その時あなたは？～（防災に関して）をテーマに多摩地区で実施し、震災時は想定にとらわれないこと、最善を尽くすこと、率先して避難者となることが大切であることを学びました。次年度は、都中Pが東京都公立幼小中高連絡協議会の主幹になり、通常の研修の他に12月に合同研修の企画立案も予定されています。

三つ目は、都中P活動広報の一環として、ほぼ毎月「都中P通信」をデータベースで理事宛に発信しました。各会員に都中Pの活動や情報、日本PTA全国協議会の動向等のお知らせを昨年度から続けています。今後も継続していく方向性です。

また新年度は、会員の皆様の意見をより反映するため、都中Pの活動の本質を考える1年とし、事業を見直し精査したく思います。都中Pがより皆様の活動に直結し、より良い活動ができるように頑張りますので、どうぞ協力をお願いいたします。

【お詫び】

都中Pの「PTA行事総合補償制度」について、案内パンフレットには払込手数料不要と記載されているにもかかわらず、添付されている払込取扱票が有料扱いのため、窓口で手数料(330円)を請求されるという事態が発生しています。こちらの不手際のため、申し込まれた単位PTAの皆様に混乱が生じ、ご迷惑をお掛けしていることを、深くお詫び申し上げます。今回の振込手数料は後日返金させていただきますので、お手数ですが一旦ご負担をお願いいたします。9月以降の都中P理事会等で地区の理事を通じて返金させていただきます。

どうかご理解のほど、よろしく願い申し上げます。

*** 1年を振り返って <委員会から> ***

*** 総務財政委員会 ***

今年度の良かった点①多くの方のご協力もあり、各区市単Pの入学説明会、入学式、地区P連運営委員会等に直接、保険代理店担当者に説明して頂いたこと（なかなか単P会長が保険の説明は難しく、パンフレットの配布のみ、もしくは理解されず、配布すらされない現状もあり、多くの方に知っていただくための改善策として）②セーフティプラン24のパンフレットが新一年生～新三年生を一括にして配布し易くなったことです。都中P厚生事業としての「セーフティプラン24」「PTA行事総合保険」は保険代理店の方と一緒に親の目線を考慮して中学生のために作った保険であり、都中Pに加盟しているからこそ団体としてのメリットが詰まった保険制度です。また、保険加入者数によって集金事務費が都中Pの収入になり、会費と合わせ、都中Pの活動に役立っているものです。反省点は今年度も退会した地区があり、会費・保険加入者数が大幅に減少したこと、PTA行事総合保険振込手数料に手違いがあったことです。新年度は都中Pの体制も変化の年であり、財政も苦しい中でのスタートですが、諦めずに未加入区市への呼びかけと厚生事業を前向きに進めて行き、少しでも都中Pの運営活動がスムーズに行きますよう皆さまと一緒に気持ちを合わせていきたいと思っています。ご協力お願いいたします。（谷代）

*** 研修委員会 ***

平成23年度は東日本大震災が大きな影響を与えている中でのスタート。私の所属する単Pでもチャリティー、募金活動、被災した学校への直接支援等、事あるごとに復興支援につなげる努力をしてきました。多分、皆さんの地域でもそうだったと思いますが、避難所開設訓練や防災教育のための勉強会を行ってきたと思います。そんな中、研修委員会として私自身、十分な活動が出来ず役員、委員の皆さんに申し訳なかったというのが率直な思いです。今年度は理事会を各地区PTA連合会の本拠地で行ってきましたが、各地区P連の意見や思いは大変勉強になりました。東京都という枠の中で、これほど地域間格差があるとは思っていませんでしたが、やはり地域ごとの問題を解決するための窓口としての都中Pの存在の大きさを実感した一年。それ以上に関わっている方たちの思いと行動力には頭の下がる思いです。そして、やはり各地区P連の願いはそれぞれの教育委員会に対する要望、要求事項の中に凝縮されています。その要望や要求を結果につなげる事が求められている。都中Pの今後の方向性が地域を回り、改めて明確になった事は一番の収穫であったと思います。一年間、研修委員会の活動にご協力いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。（岩田）

*** 特別委員会 ***

この委員会は行事を円滑に進める為に設けられるもので、平成23年度も昨年に引続き、東京都庁第一庁舎45階南展望室にて8月9日・10日に開催された「都中Pフェア」及び「食」に関する研修等の企画・提案・関係機関書類提出・準備・当日運営等を行いました。また会場予約などの都合上、立ち上げは平成22年3月、運営委員会の提案で理事会にて発足し、平成23年3月関係機関へ報告書提出を以って終了となります。そのため特別委員会委員は、期を跨いでの参加となり、活動は新旧委員で行います。「都中Pフェア」については、広報紙コンクール受賞者表彰・紹介、都中P・P連・中親会・単P／都教委推薦PTA紹介、警視庁（フィルタリング）・教育庁（都立高校種類）・犯罪被害者支援他紹介展示、年代別給食献立写真及びレプリカ展示・給食会歴史・給食実態配置地図・給食試食会、協賛企業パネル紹介等で、地震の影響で中止（展望室の使用許可）も考えられましたが、開催の運びとなり2日間で、参加延べ人数は約250人となりました。委員会では、理事以外の皆様にも「協力員」として、ご参加いただいています。一年を通じてご協力いただきました関係各位、委員の皆様にも改めまして御礼申し上げます。（津久井）

*** 広報委員会 ***

平成23年度の広報委員会は、昨年度から始めた「都中P通信」の毎月発行、広報紙（第78号）発行が主な活動でした。また、日P（社団法人日本PTA全国協議会）の広報紙コンクールの第1次審査と都中Pの広報紙コンクール審査も活動の一つです。前任者以上のことはできませんでしたが、活発な広報活動もできませんでした。しかしながら、自分のできることは協力してきたつもりです。「国が諸君のために何ができるかを尋ねてはなりません。諸君が国のために何ができるかを考えてください。」というケネディ大統領の就任演説は有名です。PTA活動も正にそのとおりだと思います。何かをして貰うのではなく、小さな力であっても自ら協力することで全体が成り立っている団体がPTAだと思います。広報委員会は、今後も都中Pの活動を発信し続けて行きます。他の地域のPTAの情報が、地区P連や単Pの活動のお役に立てれば幸いです。終わりに、都中P通信と広報紙の発行においては、原稿の執筆や推敲・校正に関わっていただきました事務局をはじめとした関係各位に感謝いたします。一年間、ありがとうございました。（桑原）

セイフティプラン24 【中途加入できます】

都中Pが厚生事業として運用している会員向け団体保険。個人会員で加入。犯罪被害にも対応しており、東京都の「犯罪被害者等支援を進める会議」においても、他保険ではあまりない被害事故補償（交通事故含む）を打ち出した保険として高い評価を得ている。加入、問い合わせは都中Pまで。E-mail : jpta@tokyo-jpta.org